

雲の上のまち



広報

くまがは

9

月号

2025
〈令和7年〉

No.807

雨のよさこい祭り くじらポーズ

第72回よさこい祭りに参加 チーム梶原地区競演場連合会地方車奨励賞を受賞

皆様の温かいご支援により、「第72回よさこい祭り」に、20回連続出場を果たすことができました。

当日は、踊り子96名、スタッフ38名、総勢134名が、梶原の名のもとに集いました。8月10日から11日にかけて、13会場で演舞を披露し、地区競演場連合会地方車奨励賞を受賞いたしました。

今年は特に、小さなお子さんと親子での参加が増え、世代を超えて力を合わせるチームの姿が印象的でした。梶原の「海津見の神」を表現し

た演舞は、初日は雨の中での演舞となりましたが、多くの方々にご覧いただき、沿道からの温かい声援に支えられた2日間となりました。

今後町内外のイベントでの演舞を予定しております。出演のご依頼などがございましたら、ご連絡をいただけましたら幸いです。

本事業にあたり、ご支援・ご協力をいただきました町内外の皆様、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

梶原町よさこい祭り実行委員会



上川 大智 梶原高等学校3年 「最高の思い出」

一昨年、昨年とこの梶原のチームでよさこいを踊り、最高の夏を過ごすことができました。受験生という緊張感もあり今年は参加できるか不安でいっぱいでした。しかし、よさこい無しでは夏は乗り越えられないという思いから今年も思い切って参加しました。

6月、とうとう梶原会場での練習が始まりました。高校生が一人だけの梶原会場での練習でどうなるか不安でしたが、参加者の方たちが積極的に声をかけてくれて一気に緊張が

ほぐれました。初対面の方との交流が増え新たな仲間が増えていくことに喜びを感じました。合同練習では参加人数の多さに圧倒されつつ、先頭で踊る身として精一杯練習に励みました。

そして本祭の日になり、高知市内全体からよさこいの熱や活気を感じることができました。梅ノ辻競演場での一発目の演舞、代表の声や音楽で踊り子やスタッフ全員の気持ちが一つになった気がして、よさこい祭りが始まったなと改めて感じました。雨天での演舞にはなりましたが、踊り子や観客の方の明るい声、メダルをもらったときの喜び、そして何より、よさこいを踊れることの嬉しさ、楽しさで雨を吹き飛ばすほどの元気を届けることができたと思います。長いようでとても短い、思い出に残る最高の2日間でした。

今年もチーム梶原の一員としてよさこい祭りへ参加することができて本当に良かったです。来年からは梶原で練習できるかは分かりませんが、また今年のような最高の日を迎えられることをとても楽しみにしています。ありがとうございました。来年もよろしく願います。

矢崎総業 国内サマーキャンプ in 梶原



昨年度、5年ぶりに復活した、矢崎総業株式会社の国内サマーキャンプ in 梶原が、今年も7月29日から4日間の日程で開催されました。サマーキャンプは、矢崎グループの従業員の子ども（小学5・6年生）が対象で、同社の職員が、事務局や指導員として参加しました。今年の参加者は、子ども達だけで97

名、指導員などの大人を含めると総勢122名となりました。毎年、梶原コースの希望者は多いそうで、今年も定員いっぱいとなる大勢の子ども達が梶原町を訪れてくれました。

活動内容は、宮野々九十九曲峠町有林（矢崎の森）での森林セラピーロード散策、中河原での川遊び、絵付け体験、町内散策、よさこい・津野山神楽の鑑賞、四国部品梶原製造所の見学やゆすはらベレット工場の概要説明等で、昨年度の実施内容をベースに時間配分等を改善し、元気に楽しく森林の機能や役割を学習するとともに、梶原の文化や自然環境を肌で感じていただきました。

森林セラピーロード散策では、百一草園の小平勝也さんや、地域おこし協力隊とOBのメンバーにもご協力いただき、湿地帯に生息する植物などのお話をいただきました。また、毎年大人気の川遊びは、例年よりも時間を長くとり、夏空の下、思いきり泳ぎ遊んで、清流を体験してもらいました。それでも終わりの時間には、まだ遊びたいという声が多く聞かれ名残惜しうでした。

3泊4日という日程の中で、梶原の自然を存分に体験し、地域の皆様との交流を深め、それぞれの思い出として、心に刻んでもらえたものと思います。

最後になりましたが、このサマーキャンプの開催にあたり、各種団体、地域の皆様に多大なご協力いただきましたことに、心からお礼申し上げます。

森林づくり脱炭素推進課



- 1 町内散策
- 2 矢崎の森散策
- 3 絵付け体験
- 4 四国部品見学
- 5 中河原川遊び



よさこいクラブ梶原 役員

— 町老連役員 —

会 長	志手 功
副 会 長	市川 辰壽
副 会 長	橋詰 春恵
監 事	久岡 智子
監 事	岩本 直也
女性部部长	伊藤 孝江
若手部実行委員長	中越 成典

— 単老クラブ会長 —

越知面区	東部千樹会	矢野 裕子
	西部千樹会	橋詰 春恵
四万川区	東 衛 星 会	廣瀬 壽子
	中央衛星会	岩本 直也
東 区	中央孝山会	中越 久市
	東部孝山会	西森 峰雄
	北部孝山会	松本 和孝
	南部孝山会	中越 成典
西 区	上松長寿会	市川 吉朗
	延 寿 会	下元 豊代
初瀬区	健 老 会	又川美津恵
	永 和 会	矢野 敬明
松原区	老 栄 会	市川 岩亀
	寿 楽 会	久岡 智子

5月14日、地域活力センターゆすはら・夢・未来館にて令和7年度総会・研修会を開催し、令和6年度事業報告及び決算報告、令和7年度事業計画及び予算案が承認されました。

また、研修会では町保健福祉課・中越佐由美課長、太田寛代副課長をお招きし、町内の福祉施設などの話をしていたいただきました。日頃から周囲に自分の生活や行動を知ってもらっていることで、いつもと違うことがあったら、すぐに異変に気づいてもらうことができます。見守ることも大事ですが、自分から見守ってもらうように働きかけ、見守られ上手になることも大事とお話いただきました。



第39号

桃源だより

よさこいクラブ梶原
(梶原町老人クラブ連合会)

のど 長生き
呼吸と喉を鍛えて、長息しましょう。

10月8日(水) 10:30~11:30
(受付 10:00~)

場所:ゆすはら・夢・未来館 2F大ホール

参加無料



講 師

高知リハビリテーション専門職大学
学 長 宮川 哲也 氏

日本の死亡原因の第4位は肺炎です。そのうち高齢者の70%以上は誤嚥性肺炎です。肺炎は老化現象ではありません。呼吸と喉を鍛えることによって、肺炎を予防することができます。この講演では簡単にできる呼吸と喉の体操をご指導させていただきます。呼吸法でからだもこころも整えて、長い息をして長生きしましょう。



老人大学のご案内

桃源だよりでは、年2回よさこいクラブ梶原(梶原町老人クラブ連合会)の活動を町民の皆さんにご報告しています。

老人クラブでは、毎年生涯学習の場として『老人大学』を開催しています。今年度は、元気で楽しい生活が未永く送れるように、健康をテーマに講演会を企画しました。

一般の方の参加も大歓迎ですので、興味のある方は、ぜひご参加ください。お問い合わせ・申し込みは、梶原町社会福祉協議会 ☎65・1235までお願いいたします。

ゲートボール愛好会の活動報告



垂れ幕の前で、記念写真

6月21日・22日に、福島県で開催した『第40回全国選抜ゲートボール大会』に、岩本直也さん・市川辰壽さん・志手功さん・中越成典さん・森山純一さん・中岡照美さんが出場しました。

男性チームは残念ながら入賞することはできませんでしたが、中岡照美さんは、県内の女性メンバーとチームを組み、見事第3位に入賞する事ができました！10月には、違うメンバーで岐阜県開催のねりんピックにも出場します。応援よろしくお願いします！

下半期の行事予定

月	日	事業名	開催地
10月	8日	老人大学 モルック体験会	梶原町
	15日	ろうれんピック2025 (屋外競技)	高知市
	31日	会長杯ボッチャ大会	梶原町
11月	初旬	高幡老連 グランドゴルフ 交流大会	四万十町
	中旬	高幡老連 老人芸能大会	四万十町
	26日	第65回 高知県老人クラブ大会	高知市
	未定	研修旅行	未定
12月	初旬	高幡老連 老人体育大会	津野町
	初旬	会長杯 ゲートボール大会	梶原町
	10日	はちきん大会	高知市
1月	下旬	新年会・芸能大会	梶原町
2月	中旬	体力測定	梶原町
3月	初旬	会長杯 グランドゴルフ大会	梶原町

※日程・内容が変わる場合があります。

梶原町老人クラブ連合会 会長表彰受賞者



東部千樹会 山内マルミさん

梶原町老人クラブ連合会では表彰規定に基づき、老人クラブの育成発展に功績のあった方及び老人クラブ活動に積極的に協力した方を表彰しています。昨年度は5名の方が受賞され、総会時に授賞式を行いました。



西部千樹会 西村寛行さん



中央孝山会 中越大善さん



東部千樹会 久保治恵さん



中央孝山会 松田日出子さん



昨年度に引き続き、今年も残暑残る8月27日に運動会を開催！涼しい室内で総勢50名で熱い戦いを繰り広げました。

若手部実行委員会とボランティアメンバーが、今年もバラエティーに富んだ種目を考えてくれ、今年も大変盛り上がりました！中でも、男性陣の見せ場『丸太切り』は、応援側にも熱が入り、会場は外の暑さに負けないくらい熱気で満ち溢れていました。

第56回 梶原町 高原まつり開催

8月14日、15日に「第56回 梶原町高原まつり」を開催しました。

14日には、町長旗争奪ソフトボール大会が梶原学園グラウンドにて行われ、5チームが出場しました。白熱した試合が繰り広げられ、「おとんとすどやうず」が優勝しました。

午後6時から、役場駐車場において高原まつり前夜祭が開催されました。夕方に一時雨が降りましたが、開催前には止み、涼しい中でのスタートとなりました。

町内事業者や団体による出店、梶原学園音楽部、雲の上のnaniゆすはらとリーリア多ノ郷によるフラダンス、梶原輪の会の新舞踊、梶原高校生による津野山神楽、カラオケ大会など多彩な催しと、ツーライスのお二人による軽快な司会により、盛り上がりを見せました。

15日は、鳴子踊りパレードからスタートし、4団体が国道440号沿いとステージ前で踊りを披露しました。

午後6時30分からフリーア

ナウンサーの藤崎靖啓さんの司会により、ふるさとまつりが開幕しました。

前半は、高知のBMXパフォーマンス集団SENSE OF UNITYによる自転車ショーが行われ、華麗な自転車パフォーマンスに拍手が沸き起こりました。

その後、愛媛県宇和島市出身の演歌歌手、空大樹さんと木村徹二さんの演歌ショーがそれぞれ行われ、お2人の素晴らしい歌声と軽快なトークに会場の盛り上がりは最高潮となりました。

祭りも終盤を迎え、空さんと木村さん、藤崎アナウンサーと吉田町長のカウントダウンとともに大輪の花火が打ちあがり、歓声や拍手が沸き起こる中、高原まつりは終了しました。

2日間とも天気に恵まれ、盛大に開催することができました。開催にあたって、町組、川西路、飯母の皆様、建設協会の皆様、警備担当の消防団の皆様、各種団体の方々大勢の皆様を支えられて、真夏の祭典は無事終了しました。また、たくさんのご協賛も賜っており、ご協力くださった皆様に心から感謝申し上げます。

高原まつり実行委員会事務局



夏の夜空に打ちあがった花火



梶原高校生による津野山神楽(山探し)



ソフトボール大会優勝旗授与



空大樹さんによる演歌ショー

15日

木村徹二さんによる演歌ショー



梶原ミニバス(女子)に ユニフォーム贈呈

令和3年9月に発足した「ゆすはらスポーツ育成会」は、梶原学園、梶原高校の部活動及びスポーツクラブの活性化や育成を通じて、梶原町におけるスポーツの普及や競技力の向上を目指して活動しています。

このたび、同育成会及び梶原建設協会より梶原ミニバスケットボールクラブ女子チームの試合用ユニフォーム購入に対する助成が行われ、7月28日に梶原体育館で贈呈式が行われました。

贈呈式では、ゆすはらスポーツ育成会の土釜清会長や、梶原建設協会の西村義幸会長から、クラブの児童たちに真新しいユニフォームが手渡され、チームのキャプテン・中岡優里さんから「皆さまのおかげで、ユニフォームを新調することができました。今週末の宿毛カップに参加するので、新しいユニフォームで勝てるように頑張ります」とお礼の言葉が述べられました。

今後も、梶原学園や梶原高校の部活動やスポーツクラブ等と連携しながら、競技用品の購入助成や、競技力・指導力の向上を支援する事業を継続してまいります。町民の皆様には、引き続き温かいご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

生涯学習課



第30回 平和の礎に感謝する集い

終戦の日から80年の節目となる8月15日、ゆすはら・夢・未来館で「第30回 平和の礎に感謝する集い」を執り行いました。

式典には、榛原町議会議長をはじめ高知県須崎福祉保健所長、さらには榛原町遺族会長や町議会議員及び区長会、そして町内各種団体等の長の皆様23名を来賓に迎え、遺族の方々44名と一般参加者及び榛原学園の生徒の皆様に参加いただき、平和の礎となられた戦没者の御霊に対し、ご冥福と恒久平和への祈りをささげ、戦争の記憶を風化させないと改めて誓いました。



平和の礎に感謝する集いの様子

吉田町長は式辞で追悼の言葉を述べ、「数多くの方々の尊い命が失われた先の大戦の終結から80年となる大きな節目の年となりました。ご遺族の皆様には、戦後の混乱の中、幾多の苦難を乗り越えられ、懸命に『平和と復興』にご尽力いただきました。皆様が抱いてこられたご無念さと言葉に尽くせぬご苦労があつたことを、私たちは忘れてはなりません」と呼びかけられました。

さらに「『平和の礎に感謝する集い』も今年で30回という節目を迎えました。戦後50年を境に、広く平和を考える機会にとの思いで始まり、この間、ご遺族の皆様をはじめ、多くの町民が平和への願いを新たにしていまいりました。しかし、世界に目を向けると争いは拡大するばかりで収まる気配がありません。広島・長崎原爆による全国の被爆者は今年初めて10万人を下回り、平均年齢は86歳を超えました。『過ちを二度と起こしてはならない』と声を上げてこられた人たちの言葉をどう後世につないでいくのか、私たちに何ができるのか、何をしなければならぬのか、現代に生きる私たちは考え、行動し続けなければなりません」(一部抜粋)と訴えかけられました。

引き続き、榛原学園9年生の森山蒼輔さんに、平和の尊さについて作文を発表していただきました。森山さんは「私たち日本人にとっては、8月15日という日は特別な意味を持ちます。戦争中、国民は多くの犠牲を強いられ、戦火を潜り抜け、生き残った人々にさえも待っていたのは地獄のような日々だったと思います。そのような中で日本は目覚ましい発展を遂げました。マスコミなどで取り上げられるのは、経済成長を遂げた私たちの国の美談ばかりです。その陰に隠れた人々の悲しみ、悔しさ・怒りに満ちた叫びは聞こえてきません。私たちは平和であることに慣れすぎてはいないでしょうか。自分が当たり前だと思ふ生活を、何も考えずにこのまま過ごしていいのでしょうか。私は、その部分にこそ『平和』の尊さについて考える鍵があるのではないかと思ふのです」と述べられました。続けて、「私は、何かの犠牲の上に成り立つ『平和』というものは本当の意味では存在しないのではないかと考えます。『本当の平和』とは何だろう、その時、2つの疑問が頭に浮かんできました。世界は過去2回の大戦で、戦争を繰り返すまいと反省したはずです。誰でも、自分がしていることを正当化したい。しかし、そのことを世界中の国の権力者が押し進めてしまうと、衝突が起こるのはあたりまえのことです。お互いの主張をお互いが納得するまで平和的に対話を重ねたりすることで小さな平和が生まれ、その連鎖が世界の平和と



平和への思いを込めて

してつながっていくことなのではないかと私は考えています。2つ目は『本当の平和とはなんだろう』ということです。私は14歳です。この14年間、生命に危険を感じることもなく『平和』に、あどけなく暮らしてきました。『何人にも自分の生命をおびやかされることのない状態』これが平和の礎になるものだと思います。いくら『戦争をしてはいけない』と声をあげても、戦争は悲しいことです。完全になくなることは

ないのかもしれませんが。だからこそ『平和』は尊いものですし、ごく小さい力ですが私たちにもできることはあると思います。例えば、SNSを使って平和や命を大切にすることを呼びかけることです。『命』を大切にすることは『平和』を希求すること。『平和』を大切にすることは『自分や相手』を大切にすること。こんな当たり前のことに世界中の人々が気づけば、平和の礎は強固なものになると思います。平和な一日を過ごせることに感謝して、平和な世界が訪れる努力を続けつつ、日々を過ごしていきます。私たちにこれからも訪れる8月15日という日が恒久的に平和を願う日であるように願います」(一部抜粋)と、思いを込めた発表をしていただきました。

そして参加者全員で献花を行い、戦没者に哀悼の意を捧げるとともに恒久平和への誓いを新たにしました。

保健福祉課

南海トラフ地震に 備えよう！

昨年8月8日に日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生しました。この地震の発生に伴い、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され、地震への備えの確認が呼びかけられました。

その後1年が経ちましたが、カムチャッカ半島付近の地震やトカラ列島近海を震源とする地震などあらゆる場所で地震が発生しております。

地震の発生の予測は難しく、大きな地震がいつどこで発生するかわかりません。食料や水などの備蓄、ご家族同士の安否確認の方法、避難場所や避難経路の確認など、日頃からみんなで備えましょう。

日頃から地震に 備えるとは？



●迅速な避難体制・準備

- ・地域にどのような危険があるか確認
- ・安全な避難場所・避難経路の確認
- ・家族との連絡手段を決めておく
- ・非常持出品を準備しておく

●室内の対策

- ・窓ガラスの飛散防止対策
- ・タンス類・本棚の転倒防止対策
- ・ベッド頭上に物を置かない

●出火や延焼の防止対策

- ・火災警報器の電池切れがないか確認
- ・漏電遮断器や感震ブレーカーの設置

●地震発生後の避難生活の備え

- ・水や食料の備蓄を多めに確保する
- ・簡易トイレを用意する
- ・携帯ラジオや携帯電話の予備バッテリー等を準備する



木造住宅耐震補助金について

昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅を対象に、地震発生時の倒壊を防ぎ命を守るための耐震改修工事費用に対する補助金額の上限が令和6年8月1日から引き上げられております。

この引き上げは、高知県の補助金増額に合わせたものとなっております。令和9年度末までの限定的な措置となっております。旧・耐震基準で建築された住宅にお住まいの方は、住宅の耐震化についてご検討ください。

町内一斉避難訓練について

11月2日(日)に、町内一斉避難訓練を予定しております。例年、県下一斉で訓練を行っておりますが、今年は町内での実施となりますので、皆様の参加をお願いします。

また、同日役場前において、起震車体験を実施します。

地震の揺れを疑似体験できます。

地震の恐怖を実感し、防災意識を高められる機会です。皆様のお越しをお待ちしております。



総務課 危機管理係

耐震診断	自己負担3千円
耐震改修設計	事業費の9割補助 補助上限27万円
耐震改修工事	事業費の9割補助 補助上限165万円

裸の写真を撮らないで！ 送らないで！！

自画撮り画像による被害やトラブルが急増しています。安易に自分の写真を送ってしまうと、知らないうちにインターネットで拡散されたり、更に露出の多い写真を要求される可能性があります。いったんインターネットに流出した画像を完全に消し去ることはできません。青少年に裸や下着姿などの画像を要求することは犯罪行為で、児童買春・児童ポルノ禁止法等で罰せられます。困ったことや不安なことがあれば、ご相談ください。



「サイバー犯罪のリアル
～第3話 心の隙間に～」



須崎警察署 ☎42-0110 梶原町青少年育成センター ☎65-1350

行かなきゃ 子宮頸がん検診・乳がん検診

子宮頸がん・乳がん検診は 2年に1度が対象です。

女性のがん検診を下記の日
程で実施します。対象者は、
今年度（令和7年4月1日～
令和8年3月31日の間）偶数
年齢に達する方で、国保加入
者または、被用者保険の被扶
養者、後期高齢者医療被保険
者等となっています。事業所
等にお勧めの方（被用者保険
等本人の方）は、事業者が実
施する検診を受けるようにし
てください。事業所が実施す
る検診を受けることができな
い方は、町が実施する検診を
受診することができます。
この機会に受診しましょう。

子宮頸がん検診

対象は、20歳以上で今年度
偶数年齢となる方。

※子宮頸がんは医療機関で
の個別受診が可能です。個別
受診の際には受診券が必要で
すので事前に保健福祉課にご
連絡ください。

20歳からしっかり受けよう 子宮頸がん検診

子宮頸がんとは、子宮の出口
部分にできるがんのこと
で、HPV（ヒトパピローマウイルス）

スへの感染が主な原因とされ
ています。HPVは性交渉によ
り感染するウイルスのため、
他のがんと違い、20歳～30歳
代から発症者が増加します。

■早期のがんは、ほとんど自
覚症状がありません。定期的
な検診によってがんになる前
の状態で見つけることができ
れば、子宮を残して治療す
ることもできますし、妊娠、出
産も可能です。

■検査は子宮の入り口の細胞
をとって検査します。前がん
病変やがん細胞がないかを確
認します。

乳がん検診（マンモグラフィー）

対象は、40歳以上で今年度
偶数年齢となる方。

※乳がん検診（マンモグラフィー）
はレントゲン検査です。妊娠
中の方や可能性のある方、授
乳中の方、ペースメーカー装着
の方等受診できない場合があ
ります。

40歳を過ぎたら乳がん検診

乳がんは、高知県の女性に
もっとも多いがんです。近年、
乳がんにかかる人や乳がんで
亡くなる人が増えています。

■若い年齢で発症するのが特

徴で、30歳代から増え始め、
40歳代になると急カーブで増
加します。初期の頃は、自覚
症状がほとんどありませんが、
そのまま放置していると全身に
広がっていきます。

どちらの検診も、精密検査
が必要と言われたら、必ず検
査を受けましょう。

マンモグラフィー （乳房X線検査）について

マンモグラフィー撮影
では、乳房を左右片方ずつ、
フィルム台とプラスチック
板ではさみ、圧迫してレン
トゲン撮影します。乳房の
圧迫は多少の痛みを伴う場
合もあります。

ホルモンの関係で乳房
が張って痛む場合もある
ので、生理が始まってか
ら2～3日目以降に受け
ると良いでしょう。



問合せ先 保健福祉課 健康増進係

☎ 65・11170

内 容	日 時	受付時間	場 所
子宮頸がん 乳がん検診	10月15日(水)	8：30～11：00 (予定)	和 田 城
	10月16日(木)		
	10月28日(火)		
申込み方法	保険証が国保もしくは社会保険 被扶養者の方	対象年齢の方には地区の推進員さんによる受診希望調査を行いました。まだ希望を伝えていない方は、保健福祉課までご連絡ください。	
	保険証が社会保険本人の方	事業所で受ける機会のない方は、集団検診を受けることができませんので保健福祉課までご連絡ください。	
備 考	検診は予約制で行います。受診を希望する方には、検診日の1週間前までに必要な書類と受付時間を通知します。		

無料調停手続 相談会について

調停は裁判所で行われ、国民
の皆様が民事や家事のトラブル
で困ったときに、非公開で話し
合いによる解決を基本として、手
軽に、早く、安く、またプライ
バシーも守られ、しかも調停が
成立すれば裁判による判決と同
一の効力が生じる制度です。

この相談会を開催しますので、
お困りのことがある方はご利用
ください。予約は不要です。直
接会場へお越しください。

● 目 的

〈民事問題〉
損害賠償（慰謝料、交通事故
等）、金銭貸借、立替金、建
物明渡、家賃等
〈家事問題〉
離婚、婚姻費用、財産分与、
面会交流、養育費、相続（遺
産分割）、等

● 日 時

令和7年9月29日（月）
午後1時～午後4時
（受付は午後3時30分まで）

● 場 所

高知県民文化ホール1階
第11多目的室

● 問い合わせ先

高知調停協会連合会事務局
（高知家庭裁判所内）
☎ 088・872・7884

梶原小学校3・4・6年生 イングリッシュシユデイキャンプ

7月22日～25日の4日間、梶原小学校3・4年生と6年生を対象としたイングリッシュシユデイキャンプを、梶原小学校で開催しました。今年度は前半の22日・23日は3・4年生が対象、後半の24日・25日は6年生が対象で、外国人講師と交流しながら、講師の国の文化に興味・関心を持ち、世界の面白さ、外国語を話す楽しさを感じることで、英語という言語のみに重点を置くのではなく、からだ全体を使った表現を通じ、表現力、コミュニケーション力、自己肯定感、共感性といった、これからの社会に必要なとされるさまざまな能力を培う素地を子どもたちに提供することを目的として、本町が株式会社アイエスエイ（本社東京都）に委託して開催したものです。

前半、後半コースのどちらも、初日の朝は、やや緊張した面持ちで登校した子どもたちが多かったのですが、チャンツ（リズムに合わせて単語や文を繰り返す学習法）やダンス、時にはゲームなどを通して、からだ全体を使って感情を表現したりすることで、時間が経つにつれて心も体もほぐれ、楽しく、また積極的に活動する子どもが増えていきました。英語を母語とする（ネイティブ）講師の方々が英語で出す指示を子ども達も、英語がわからなくても、その時

の状況や講師の表情、しぐさから、今は何をすればよいのか理解できたり、推測できたりする場面も多くなっていました。小学校で外国語活動が行われていることもあり、自分たちが普段授業で取り組んでいる活動内容と、それほど大きな違いはないことに気づいたようでした。

最終パフォーマンスは、3・4年生は海外と日本の料理を比べて2つのグループに分かれ、それぞれの特徴やおすすめポイント等を主張し合ったり、6年生は自分で考えデザインしたオリジナルの街を説明しながら紹介する、というものでした。コース中盤から後半にかけてはその準備や練習に多くの時間が割かれていましたが、それぞれが一生懸命に練習に取り組んでいる姿が見られました。

クロージングセレモニーが、笑顔の子どもたちでいっぱいだったのも、最終パフォーマンス本番ではできる限りのことをやった、という達成感があったからでしょう。

プログラムの目的にあるように、英語を話すだけではなく、からだ全体を使った表現を通じて自己表現力を伸ばせるよう、しっかりと工夫された活動内容となっていました。また、「参加して楽しかった」と答える子どもが多かったことから、自己肯定感の向上にもつながっていると感じました。今回の体験が、英語を学ぶ意欲を高める機会となり、また、言語以外の手段でもコミュニケーションをとったり、自分を表現したりすることができるといふ気づきや自信につながることを願っています。

一貫教育
支援センター

イングリッシュシユデイキャンプ



6年生



4年生



3年生

外国語指導助手（ALT） カーター先生着任



カーター・フロスト先生
（Carter Frost）

帰国されたパトリック先生の後任として、8月6日に新しいALTのカーター・フロスト（Carter Frost）先生が着任されました。梶原学園や梶原こども園の子どもたちに英語を教えていただきます。

カーター先生は、アメリカのフロリダ州出身で、趣味はエクササイズ、執筆活動、日本語の勉強です。梶原町では、子どもたちのことを早く知って、指導を頑張りたいそうです。

町内で見かけられた際には、ぜひ声をかけてあげてください。

生涯学習課 学校教育係



梶原学園5年生 体験合宿

7月23日から25日の2泊3日の日程で、梶原学園5年生が黒潮町にある幡多青少年の家で体験合宿を行いました。

野外活動や共同生活において主体的に行動し、みんなで協力しあって楽しい合宿にすることを目標に取り組みました。

【活動内容】

7月23日

- ・ 森林学習
- ・ シーカヤック
- ・ スキンダイビング
- ・ 野外炊飯
(カレー・アルミ缶炊飯)

7月24日

- ・ ランドスキム
- ・ スキムボード
- ・ ボディボード
- ・ 野外炊飯
(BBQ・アルミ缶炊飯)
- ・ キャンプファイヤー

7月25日

- ・ モルック
- ・ ドミノ
- ・ ふりかえり



みんなで作ったカレーおいしいね



楽しいシーカヤック



ボディボードにも挑戦



キャンプファイヤー



後片付けもバッチリ



みんなで協力したドミノ



白熱したモルック

今回の体験合宿は、天候にも恵まれ、屋外での活動も元氣いっぱい取り組むことができました。海で泳ぐことが初めての児童もあり、最初は不安そうな様子も見られましたが、シーカヤックやボディボードに挑戦し、次第に笑顔で楽しむ姿が見られました。また、野外炊飯やキャンプファイヤーでの発表など、友達と声をかけ合いながら協力する場面が多く見られ、仲間との絆を深める体験となりました。親元を離れ、友達との共同生活を通して時間やルールを守ることの大切さを学び、それぞれが一段と成長することができたのではないかと思います。

生涯学習課



海の前で全員集合！



小6体験入寮

昨年までは12月に行っていた体験入寮を今年は7月14日に行いました。冬場は荷物が多くなつて大変という保護者の声がありましたので、実施時期を変更しました。最初に学校でオリエンテーションと仲間づくりの活動を行った後、寮に移動しました。夕食を食べ、入浴や学習時間など、集団で時間を守った規則正しい寮生活を体験することができました。

梶原招待大会

梶原中学校では四半世紀以上前から、梶原招待大会を開催してきました。コロナ禍で一時期開催できなかった年もありましたが、昨年も野球、剣道、男女バスケットボールの競技で開催し、歴史ある大会となっています。今年は残念ながら野球部の大会が部員数の減少により中止となりましたが、男女バスケットボールや剣道の競技では大会を開催することができ、多くの学校・チームの参加を得ました。

バスケットボールは、7月5日に男子の試合が、6日に女子の試合が、梶原学園体育館で行われました。男子は西部中、野市中、市立安芸中が、女子

は城北中、伊野中、土居中が参加し、トーナメント形式で試合が行われました。



男子は初戦西部中と対戦し、67対32で勝ちました。続く決勝戦では野市中と対戦し、37対38の僅差で敗れました。



女子は東津野中との合同チームで初戦城北中と対戦し、67対45で勝ちました。続く決勝戦では土居中と対戦し、51対55で敗れました。結果は、男女とも2位でした。

剣道は7月5日に大越体育館で団体戦の試合が行われました。県内9校（東は野市中から西は宿毛中まで）、愛媛県から6校及び松山剣道会、宇和島剣道会の2チームが参加しました。

男子は梶原中単独チームと鏡野中・高岡中との連合チームの2チームが出場し、単独チームは野市中と対戦し、



0対3で敗れました。連合チームは初戦宇和島剣道会と対戦し、1対1の同点でポイント差で勝利しました。続く2戦目は松山剣道会と対戦し、0対5で敗れました。

女子は西部中との合同チームで出場しました。初戦鏡野中と対戦し、2対2の同点で、代表戦の末敗れました。

高知県中学総体



1学期の終業式が終わつてすぐに、高知県中学校総合体育大会が行われ、梶原中学校からは剣道部とバスケットボール部女子が出場しました。

剣道部は7月20日に南国市スポーツセンターで団体戦と個人戦が行われ、男子が出場しました。団体戦は1回戦で城東中と対戦し、0対4で敗れました。個人戦は2年生の中越幸一さんが出場しました。



バスケットボールは7月24日、26日に春野体育館で試合が行われ、東津野中と合同チームを組んだ女子が出場しました。初戦は朝倉中と対戦し、85対45で勝ちました。続く2戦目は野市中と対戦し、66対41で勝ち、

決勝リーグに駒を進めました。決勝リーグでは北稜中に29対72で敗れ、中村西中に48対45で勝ちました。3戦目は横浜中に40対49で敗れ、結果3位でした。



県吹奏楽コンクール

8月4日に高知県吹奏楽コンクールが県民文化ホールで行われ、音楽部が出場しました。梶原中音楽部は吹奏楽としては人数が少ないため、B部門に出場し、「さくらうた」を演奏しました。結果は銅賞でした。

一部の記事はホームページでも見ることができます。

<http://www.yusunahagakuen.jp>





栲高だより

インターハイ

アーチェリー部女子は、山口県岩国市で開催された全国高等学校総合体育大会（インターハイ）の女子団体戦に出場しました。これで10年連続の出場となり、地域の皆さまのご声援とご支援のおかげで大きな節目を迎えることができました。

8月7日、選手たちはこれまでの練習で培った集中力と粘り強さを発揮し、全国の舞台で堂々と競技に臨みました。

この経験を今後の活動に活かし、次年度以降も挑戦を続けてまいります。応援してくださった地域の皆さまに心より感謝申し上げます。



ICT研修会

8月20日、栲原高校で津野山地域中高一貫教育推進協議会主催ICT研修会（学力部会）を実施いたしました。

栲原高校、栲原中学校、東津野中学校の先生方が参加し、ICTを使った情報共有や生成AIの特徴と活用方法を学びました。これからの授業実践につなげていきます。

津野山地域における中高生の基礎学力の定着と学力の向上を図るため、ICT機器の効果的な活用方法について教員間で研究を進め、情報や指導法の共有を図りながら取り組んでいきます。



中高合同リーダー研修

8月21日、栲原中学校、東津野中学校、栲原高校の生徒会が親睦を深め、学校の生徒会活動に生かすことを目的とした津野山地域中高一貫リーダー研修を行いました。

午前中は体育館で課題解決能力を養うゲームや、各校の取組を共有する活動を行い、お昼からは親睦を深めるためのバーベキューを行いました。高校生がリーダーとして中学生を引っ張り、学校学年関係なく和やかな雰囲気での活動することができました。



環境整備活動

8月24日、栲原高校PTA主催の環境整備活動が行われました。当日は日曜日の猛暑にもかかわらず、保護者・教職員・生徒の有志等、計45人が集まり、学校周辺の整備を行いました。

朝8時半から2時間ほど、グラウンド周りの草刈りや、テニスコートの清掃、中庭の草引きや木々の剪定を行いました。天気が心配されましたが、当日は快晴で暑い中での活動となりました。色々な場所がきれいになり、気持ちよく2学期を迎えられました。



観光協会だより



森の中でヨガ！新体験メニューのご案内

9月から観光協会の体験商品に「ヨガ」が加わりました！

太郎川公園の森の中で、深呼吸しながら心と体を整える「森の中のヨガスタジオ」が新たに観光協会の体験メニューに加わりました。講師は雲の上のヨガの田代菜月さん。自然の中で自律神経を整え、日常の疲れをリセットできると好評です。

月1回のグループレッスンとして定期開催を予定しており、町民の方のご参加も大歓迎です！

お気軽に観光協会までお問い合わせください。



レッスンの詳細

①9月27日(土) ②10月19日(日)
時間：10:00～11:00
場所：太郎川公園 湿生園
(雲の上のカフェ集合)
料金：初回1,500円(税込)／
2回目以降2,500円(税込)
持ち物：動きやすい服装、タオル

ご予約はこちら



ブドウ通信

～梶原の畑からワインになるまで～



昨年の課題を超えて色づき始めたぶどうたち

梶原のブドウ圃場では、赤ワイン用のブドウ品種であるマスカット・ベリーAの色付きが進んできています。昨年までは色付きが不安定であったため、収穫時期を迎えても圃場には緑色をした果実が多く見られましたが今年度は順調に色付いています。

また、昨年度はヒヨドリによる被害が発生したため対策として防鳥資材を設置しました。8月末時点で今のところ被害は見られませんが、収穫までの残り短い期間を何とか乗り切っていければと思います。



7月の利用者数

宿泊者数

1269人
(前年比91%)

ガイドツアー

人数/組数
353人/26組

ゆすはら雲の上観光協会

10月1日は 浄化槽の日

「浄化槽の日」は浄化槽の普及促進及び浄化槽法の周知徹底を通じて、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るとともに、公共用水域の水質保全に資することを目的として、昭和62年に制定されました。

浄化槽の維持管理が適正に行われないと水質悪化や悪臭、害虫の発生につながるとともに、浄化槽の機能回復に余分な費用がかかることになります。

●浄化槽管理者の義務

浄化槽を設置し管理している方は、浄化槽法で定められている「保守点検」「清掃」「法定点検」の3つの義務を果たすようお願いいたします。

【保守点検】

4ヶ月に1回以上保守点検を受けましょう。

浄化槽の機能を維持するために機器類の調整や消毒薬の補充を行います。

【清掃】

1年に1回以上清掃をお願いしましょう。

悪臭や水質悪化の原因となる汚泥や固形物などを引き抜き、洗浄を行います。破損しているところがないか確認します。

【法定検査】

保守点検や清掃が適正に行われているかなどを確認します。浄化槽の処理水の水质を検査し、浄化槽の機能が正常かどうか検査を行います。浄化槽管理者の皆様には、適正な維持管理をお願いいたします。

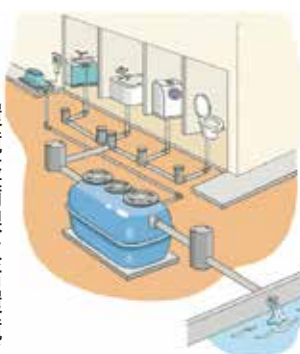
●合併浄化槽補助金の要望調査

毎年11月頃に翌年度の合併浄化槽補助金の要望調査を行っています。

将来へきれいな水環境を残すためにも合併浄化槽の設置をしていない方は補助金を活用して、できるだけ早い設置をご検討ください。

令和8年度に合併浄化槽補助金を活用したい方は、要望調査時に環境整備課までご相談下さい。

公共下水道または農業集落排水が整備されている区域にお住まいで、まだ下水道に接続をしていない人は、速やかな接続をお願いします。



環境整備課生活環境係

☎65-11251

雲の上の図書館だより

YUSUHARA COMMUNITY LIBRARY JOURNAL ☎0889-65-1900

テクノロジーで自由に遊ぼう

てくテックすさきがつなぐ、未来への可能性



8月10日開催

子どもたちが最新のデジタル機器に親しめる「てくテックすさき」の出張ワークショップを開催しました。スマホを使った金魚すくいやレーザーカッター製のゴムてっぽう射的、3Dペンに夜キーホルダー作りなど、デジタルと夏祭りを組み合わせた催しは大盛況で、開始前から順番待ちの行列ができました。4年目を迎えた今回は特にプログラミングに関心を持つ参加者が多く、遊び体験からプログラミング学習へスムーズにつなげることができました。

図書館の舞台裏を覗いてみよう

ツアーを通して伝えたい、図書館の想い



8月12日開催

昨年度好評を博した図書館ツアーを今年も開催しました。普段は入れない閉架書庫の見学や、雲の上の図書館が多くの人に親しまれている秘訣を、スタッフが案内しながら紹介しました。昼夜2回で各20名が参加し、町内外から幅広い方にご参加頂きました。夜の部では子ども連れの参加も多く、閉架書庫の見学を楽しみにしている様子でした。説明を聞くことで改めて図書館の魅力を実感した方も多く、定期開催を望む声が寄せられました。

病気を知り、歩き出そう

『ひとりじゃないき』

著：山中しのぶ

41歳でアルツハイマー型認知症と診断され「認知症本人」でありながら「介護専門職」としてデイサービスを立ち上げるまでに至った著者が想いを語った1冊。日々感じていることなどを赤裸々に綴る。



身近にある、いいところ

『ふるさと再発見の旅 四国』

撮影：清水安雄

残しておきたい風景や物語を取材した写真紀行シリーズ。第9弾「四国」は香川、愛媛、高知、徳島を収録。地域に伝わる祭りやノスタルジックな商店街を取り上げ、各県の重要伝統的建造物群保存地区も掲載。



ご紹介した作品が貸出中の際は、ご予約を承ります。お気軽に図書館カウンターまでお問い合わせください。

10月の休館日

7日、14日、21日、28日、31日

季節の短歌

やさしいね 陽のむらさきに 透けて咲く
去年の秋を 知らぬコスモス / 俵万智



茅葺きだより



－茅葺き文化を伝承する会－

茶や谷の茶堂



施工前



竣工後



屋根下地施工中



屋根棟の作業

町内に残っている茅葺きの茶や谷と中の川集落の2棟の茶堂の葺き替えと旧掛橋和泉邸棟回りの修繕を5月から7月にかけて実施しました。

本年度の職人育成は昨年度の反省に立ちその手法を見直しての取組が功を奏し育成者同士のコミュニケーションもうまく取れ、作業がスムーズに進みました。梅雨と重なり大雨や酷い暑さに見舞われましたが、それぞれの建物の特長を活かした仕上がりとする事ができたという川上義範親方の評価でした。

茶や谷の茶堂は、昨年化粧坂茶堂、太郎川公園ふるさと広場民家の葺き替えに続き3棟目となり、2年目となった育成者たちには

茶や谷・中の川の「茶堂」が茅葺きで葺き替え技術繋がる

随分と手慣れた様子が伺えました。茶や谷の茶堂は、私の知っている限りでは最も近年まで当番制で茶菓子で道行く人々をもてなしていた茶堂だったように思います。また、すぐ近くに囲炉裏の設置された民宿「かまや」では「坂本龍馬脱藩の道」沿いの宿として中岡俊輔氏の仕留められたシシの鍋料理などが人気を博し賑わいを見せていましたが、今は休業状態となり寂しい限りです。今年も6月29日に地域住民たちが総出で「虫送り」が行われ、例年通り茶や谷集落の北端からたいまつを灯し集落南端の下組との境まで20人ほどが列になって害虫や悪病を連れ去りました。今年の豊作と無病息災を祈りながら…。

そんな純朴な風俗が続けられている数少ない集落です。ただ、近年は多くの写真愛好家が訪れ、こうした素朴な風景を記録に残す時代の変化に、何かやるせなさも感じるのは私だけでしょうか。



葺き替えられたばかりの茶堂に見守られ「虫送り」をする住民たち（令和7年6月29日）

中の川の茶堂



施工前



竣工後



施工中



ハマグリ屋根

職人養成事業の3棟目は初めての取組で棟の修繕です。東区東町の旧掛橋和泉邸の「たぶさ」など棟回りの修繕で一部についての手直しを川上親方からの指摘を受け、すぐに皆で適切に対応しました。美しく仕上がり、訪れる人々を楽しませていきます。皆さん、本当にお疲れ様でした。

一方、中の川の茶堂は、ハマグリと呼ばれる軒先が長く垂れ込んだ建物を雨雪から守る構造となっている姿が特徴的で、中の川集落独特の景観を作り上げ山里の風情を醸し出しています。ただ、人口減少は著しく、後数年もすればおそらく葺き替えのできる可能性は失われてしまうでしょう。多くの集落が抱える大きな課題です。今後こうした文化財のあり様を共に考えてゆく時が来ていると私は思います。

茅場の維持管理ワークショップ

7月20日に徳島県三好市の京柱峠茅場で、一般社団法人日本茅葺き文化協会（安藤邦廣代表理事）主催による茅場の維持管理ワークショップが行われ「現代の名工」である川上親方が講師で招かれました（講師補佐：岩本峰晴、津村祥平）。この茅場は毎年地元住民が茅刈りを行っていますが、茅場内に雑木や古茅が混ざっているなどの課題があったため、川上親方指導のもと、雑木の伐採や古茅の刈り倒しを行いました。ワークショップには、北は北海道から南は九州までの全国からおおよそ30名（うち海外からの留学生4名）の参加者が集まりました。年齢層は、小学生や大学生、茅の販売や建築設計を生業とする社会人まで幅広く、参加者たちは川上親方の説明に熱心に耳を傾け、また各地域の茅場事情についても盛んに議論が交わされました。

掛橋邸の棟修繕



施工前



竣工後

茅場内に散在する雑木は過去に放牧地だったところに牛の日除けとして利用されていたものと考えられますが、茅場に転用された現在においては木の周囲の茅が十分に生育できず、茅場の潜在能力を十分に生かすことができない要因となっていました。

ワークショップでは、これらの雑木をチェーンソーで切り倒すことから始まり、切り倒した木は玉切りした後、切り株付近に積み重ねるようによりとめておきました。これらの木は本来であれば茅場外へ持ち出すことが望ましいのですが、今回は時間が限られていたため、できる範囲で作業を行いました。参加者たちは伐採したエンジュの木をコースターや表札などに利用するためにそれぞれ持ち帰りしました。また、人手不足から昨年度はすべての茅を刈りきれなかったため、新しい茅の中に古い茅が混在するエリアがありました。古茅が混ざった茅束は屋根材には適さないため、来年度以降、良質な茅を確保できるように、古茅が混ざっているエリアの茅を鎌で刈り倒しました。

茅場の維持管理作業は原則年に一度の茅の刈り取り（＋山焼き）だけで十分ですが、その年に一度の作業を怠ってしまつと、今回のような追加の作業が必要になります。また、今回は茅場の維持管理作業を実施できる技術者の希少さを再確認する機会となりました。当初は三好市内でワークショップの講師を探していたのですが、茅刈りの経験者はいるものの、よりよい茅場をつくるための知識や技術を有した人は見つからず、川上親方が講師を担当する運びとなりました。伝統的な茅採取の経験があり、現在も現役で茅場に通い続けているのは四国内で川上親方ただ一人といっても過言ではないと思います。梶原はその面で非常に恵まれた環境であることを忘れずに、官民が緊密に連携し、茅場の継続的な利用

により一層力を入れていききたいと身が引き締まる思いです。

大崎光雄記



ワークショップ風景

こうちこうばいぷろじえくと主催 合同窓口公売会「the Seller vol.6」開催のお知らせ

例年、県内の自治体が合同で開催している合同窓口公売会について、今年の開催日程が決定しました。窓口公売（期間入札）とは、市町村税等の滞納者から差し押さえた不動産・動産などの財産を、窓口で期間を定めた入札によって売却を行い、滞納税等への充当を行うものです。

これまでも、テレビやゲーム機、家電製品や軽トラなどといった、幅広い物品が出品されました。行政サービスを支える財源の確保のため、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

◆開催期間 10月21日（火）～27日（月）

◆入札受付時間

【窓口入札】期間中の午前9時～午後5時（開庁時間内）
【インターネット入札】期間中の午前0時～午後23時59分

※物品の情報については、9月に運営事務局のホームページにて発表します。
※ネット入札期間中以外はアクセスできませんのでご注意ください。

◆入札場所

- ★WEB上で指定する入札フォーム
- ★県内各市町村税務担当窓口（全34市町村）
- ★県内各租税債権管理機構（安芸、南国、高幡、幡多）
- ★県内各県税事務所（安芸、中央東、中央西、須崎、幡多）

◆主催 こうちこうばいぷろじえくと

（お問合せ先）

こうちこうばいぷろじえくと
運営事務局
高幡広域市町村圏事務組合
租税債権管理機構

☎0889-40-0911
（平日午前9時～午後5時
／正午～午後1時除く）

こうちこうばいぷろじえくと
PRキャラクター
このすけくん



10月の行事予定

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 4日(土) ゆすはらグルメまつり | 20日(月) 梶原町交通安全の日 |
| 5日(日) ゆすはらグルメまつり | 25日(土) 芸術祭 |
| 6日(月) 人権相談・行政相談(10:00~15:00) | 26日(日) 芸術祭 |
| 11日(土) 大越粗大ゴミ受入日・環境整備デー | 29日(水) 東区(三嶋神社)神祭 |
| 12日(日) 第12回龍馬脱藩マラソン大会 | 30日(木) 東区(三嶋神社)神祭 津野山神楽 |
| 18日(土) 梶原こども園運動会 | |

※行事予定は変更となる可能性があります、ご了承ください。

10月の保健福祉課行事予定

- | | |
|---|---|
| 1日(水) 松原サテライトデイサービス | 10日(金) 西区いきいきふれあい広場(下西の川) |
| 2日(木) 四万川宅老所 | 15日(水) 女性検診(和田城) |
| 3日(金) 初瀬いきいきふれあい広場
東区、西区、初瀬区健診結果説明会 | 16日(木) 女性検診(和田城)
インフルエンザ予防接種(中学生以下:保健福祉支援センター) |
| 5日(日) 県障害者スポーツ大会 | 17日(金) 東区いきいきふれあい広場 |
| 6日(月) げらげら家族会 | 20日(月) インフルエンザ予防接種(保健福祉支援センター) |
| 8日(水) 愛育相談 | 22日(水) ウォーキング教室 |
| 9日(木) 越知面デイサービス友の会
東区宅老「えくぼ」
四万川宅老所
インフルエンザ予防接種
(午前:四万川診療所、午後:保健福祉支援センター) | 23日(木) 四万川いきいきふれあい広場 |
| | 24日(金) 新型コロナワクチン接種(保健福祉支援センター) |
| | 25日(土) 梶原病院・保健福祉支援センター30周年記念行事 |
| | 28日(火) 女性検診(和田城) |
| | 29日(水) 第6回ゆすはら雲の上にじいろアート展(雲の上の図書館) |

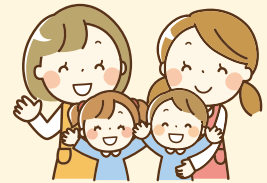
月曜日～金曜日 子育て世代包括支援センター(支援センター1階)

※妊娠や子育てに関する相談がありましたら、気軽においでください。

(電話でも構いません。☎65-1170までお願いします。)

川畑真理子心理カウンセラーの相談日(月2日)……27日(月)、28日(火)

※相談希望の方は、子育て世代包括支援センター ☎65-1170までお願いします。



※行事予定は変更となる可能性がありますのでご了承ください。



川上 博明 様 (下西の川)
故川上富士恵氏逝去に伴う
(社会福祉へ)

中越 猛夫 様 (後別当)
故中越政恵氏逝去に伴う
(社会福祉へ)

【その他の〓寄付(香典返し)】

山下 富喜恵 様 (愛媛県)

【広報への〓寄付】

匿名希望の方 33名

池内 泰司 様

吉池 研雄 様

【ふるさとづくり寄付金】

このほど、次の方々からご寄付をいただきました。町ではその趣旨を十分に尊重し、有効に活用させていただきます。紙面をもってお礼とご報告申し上げます。

寄 付 の お 礼

● おくやみ

住 所	死亡者名	年齢	死亡年月日
茶や谷	中平 満子	81	令和7年8月9日
下西の川	川上富士恵	95	令和7年8月22日
太郎川	又川 秋男	94	令和7年8月26日

● ご 結 婚

届出時の住所	夫 婦 氏 名	婚 姻 日
六 丁 土 佐 市	夫 西村 大地 妻 羽方 美紅	令和7年8月8日

※個人情報につき掲載の了解をいただいた方を掲載しています。

文芸

柚子の木俳句会

あさがおの蔓植の枝をとらえたり

西村由利子

扇風機母子シエアする風呂上がり

西森誠子

夏休み孫の帰省や歳を知る

中平忠雄

施餓鬼終えお寺下りし身も軽し

中越郁子

大師おわす茶や谷茶堂の露けしや

渡辺瑞枝

雲の峰やがて洋上に浮かびけり

吉田敬子

「あんぱん」で終戦記念日八十年

中越昌一

心をも溶かす連日猛暑かな

広瀬卓雄

それぞれの句の季語は何でしょう。季語は主役になっているのでしょうか。また、季語と内容の取り合わせなど鑑賞してみてください。ちなみに「雲の峰」は入道雲のことで夏の季語、「露けし」は露に濡れて湿っぽいさまのことで秋の季語です。

杉の子俳句会

浮き雲に乗って飛びたや盆とんぼ

影浦鉄心

夏の空飛行機雲の一直線

氏原陽子

大木に千匹ほどの蝉時雨

明神伊佐子

出刃包丁槌で打ち込み割るカボチャ

西村幸枝

墓石も焼けて猛暑の盆終る

大崎みなと

秋雲や日色ともゑの声沁みて

久岡智子

大屋根に茅葺き職人雲の峰

川田早苗

昼食に秋風添えて女寺

掛橋初子

蝉しぐれ健診無事に終りけり

西村蓉子

墓参り白き塔婆の加わりし

下元廣幸

「浮雲に乗って飛びたや盆とんぼ」青空にぽっかりと浮かぶ白い雲、誰しも乗ってみたいと思ったことがあるでしょう。盆とんぼから思いを馳せて楽しい空想の世界に浸っています。

夜間学級の生徒を募集します！

令和8年4月に入学する高知県立高知国際中学校夜間学級(夜間中学)の生徒の募集を、10月6日(月)から開始します。

中学校の卒業資格が欲しい人、もう一度中学校の学習内容を学び直したい人のための、公立中学校夜間学級です。

学校は、JR高知駅から徒歩約8分(高知市新本町)にあります。

募集期間

令和7年10月6日(月)～令和7年12月5日(金)

募集案内配布場所

- ・梶原町教育委員会
- ・高知県教育委員会事務局高等学校課
- ・高知国際中学校夜間学級

※高知県教育委員会のホームページからもダウンロードできます。

高知県 夜間中学

検索



対象

高知県内に住む15歳を超えた人で、国籍に関わらず、卒業まで続けて通学できる下記の人です。

- ・中学校の学習内容を学び直したい人
- ・小学校や中学校を卒業していない人

※状況により、中学2年生、3年生からスタートすることもできます。ただし、大学や高校等に通っている人は入学できません。

入学希望申請書提出方法

募集案内配布場所に持参または郵送

問合せ先

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号
高知県教育委員会事務局高等学校課 ☎088-821-4907
メールアドレス: 311701@ken.pref.kochi.lg.jp

生涯学習課 学校教育係

梶原町のいろいろなサイトをご紹介します

ゆすはら散歩

奥四万十時間
Instagram

ゆすはらキャンプ場
Instagram

ゆすはら雲の上観光協会
Instagram

四国カルスト広域連携推進協議会
Instagram

ライダーズイン雲の上
Instagram

梶原町公式ホームページ
<https://www.town.yusuhara.lg.jp/>

わが町の人びとの動き

世帯数 1,668 (8月末) / 1,665 (7月末)

人口 3,029 (8月末) / 3,029 (7月末)

出生 0 死亡 5 転入等 7 転出等 2

ありがとうございます30年！これからも地域とともに 梶原病院・保健福祉支援センター 30周年記念行事のお知らせ

平成8年3月に人々の顔が見え合う小さな山村の良さを活かし、町民の「心と体」を総合的にサポートする施設として開設以来、梶原病院・保健福祉支援センターは今年30周年の節目を迎えます。

地域の皆様に日頃の感謝の気持ちを込めて、左記のとおり記念行事を開催します。

【開催日】
令和7年10月25日(土)

【場所】
梶原病院・保健福祉支援センター

【内容】
午前10時～12時30時
・健康イベント
（骨密度測定・血圧測定等）
・生活福祉センター居室見学会
・リハビリ体験
・お医者さん体験
・エプロン会による備蓄食材を使った試食会
・芸術祭とコラボ企画
スタンブラリー

午前10時～11時30時
・梶原病院座談会
午後1時～2時30時
・元梶原病院院長
内田望氏講演会
皆様のお越しを
お待ちしております。

【問合せ先】 保健福祉課 ☎65-11170



梶原病院の 発熱外来 について



近年、季節や時期を問わずさまざまな感染症が発生しています。

感染症の可能性がある場合、感染拡大しないよう、予約を受けて別室・別の場所での検査や診察を行っております。

いつでも診てもらえるの？

【予約が必要】となります。
お手数をおかけしますが、まずは【電話】でご相談ください。

☎0889-65-11151

症状や、その日の予約数から、診察可能な日時を看護師からお伝えします。

発熱外来の予定は？

【月曜日・金曜日】

9時～12時
13時30分～16時

※ただし水曜日の午後は、院内業務のためお休みとなります。ご了承ください。

みなさまのご理解をお願いいたします。

「国保・医療費の お知らせ」 送付回数が 年3回に変更

「国保・医療費のお知らせ」は、国民健康保険被保険者の方が医療機関等でかかった医療費の額等をお知らせし、ご自身の健康管理や医療に対する関心、理解を深めていただくことを目的として送付しております。

このお知らせについて、令和6年度までは年6回送付しておりましたが、令和7年度から年3回の送付に変更となりました。

令和7年度の発送時期は、9月、1月、2月の3回を予定しております。

なお、世帯の中に医療機関等を受診している人がいない場合は発送されません。



【問合せ先】

保健福祉課 医療保険係

☎65-11170

広報委員のつぶやき

時間の流れは万人に共通にやってきました。久方ぶりに会った人を見て「この人は老けたなあ」なんて思うこともありませんが、鏡に映る自分の顔を見て他人ごとではないじゃないかと感じています。

特にきつい仕事をしていると思わないけれども、若い頃と違って日々の暮らしの疲れが溜まって、経験したことのない身体の変調が少しずつ出てくるようになりました。

毎年の健診は受けているので内科的なことは自身把握しているけれど、歳を重ねるにしたがって神経痛なるものが襲ってきます。肉体の疲れにより筋肉が固くなり神経を圧迫し痛みとなって、お尻や太股などいろんなところに現れます。股関節や膝関節のぎくしゃくは全体に行って筋肉を緩めてもらうと楽になります。が、湯治という言葉があるように湯にゆっくり浸かるのも効果的です。

目が白内障になったり、耳が聞こえづらくなったり、手が痺れたり、膝が痛くなったり、夜中にトイレに行かないと寝られなかったり、老いてゆく中での通過点のようですが、できることならそういうことに患わずにいたいものです。

永年身体を使い頑張ってきた人生経験豊富な皆さん、日々のメンテナンスを怠らずに、ゆつくりと心と体の健康を保っていきましょう。

「広報ゆすはら」の表紙写真を募集しています。

応募方法等の詳細は役場総務課(☎65-1111)までお問合せください。